

研究実施のお知らせ

2026 年 1 月 14 日 ver.1.0

研究課題名

糖尿病合併代謝機能障害関連脂肪性肝疾患患者におけるチルゼパチド治療前後の肝指標の変化に関する後ろ向き検討

研究の対象となる方

2024 年 4 月から 2025 年 7 月の間に島根大学医学部附属病院で 2 型糖尿病合併 MASLD と診断され、チルゼパチド治療を開始された方

研究の目的・意義

本研究は、2 型糖尿病と代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）を合併する患者さんにおいて、糖尿病治療薬であるチルゼパチドの使用前後で肝機能検査値がどのように変化するかを、診療録の情報をを用いて後ろ向きに調べるものです。

MASLD は 2 型糖尿病を合併することが多く、将来的に肝臓の病気が進行する可能性があるため、日常診療の中で肝機能の変化を把握することが重要とされています。一方で、糖尿病治療薬が肝機能にどのような影響を与えるかについては、実際の診療現場でのデータが十分に蓄積されているとは言えません。

本研究により、チルゼパチド治療を受けた患者さんにおける肝機能検査値の変化を明らかにすることで、今後の診療において糖尿病と脂肪性肝疾患を併せ持つ患者さんの治療を考える際の参考となる情報が得られることが期待されます。

なお、本研究は通常の診療で得られた情報をを用いて解析するものであり、患者さんの治療内容や通院に新たな影響を与えることはありません。

研究の方法

・ 利用する情報の項目

- 1) 治療前および治療開始 6 か月後の血液検査データ（AST・ALT・ γ GTP・血小板・血糖値・HbA1c・TG・LDL-Cho・HDL-Cho・eGFR・FLI・FIB-4 index）
- 2) 上記の検査を行った際の患者情報（年齢・性別・体重・BMI・腹囲）

研究の期間

2026 年 2 月 16 日～2027 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 肝臓内科 飛田 博史

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 9 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院肝臓内科 飛田 博史

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190 FAX 0853-20-2187